

国際理解出前講座

アンコールワットの魅力と カンボジアの今

8月30日（日）野里公民館で、山口文代さんを講師に国際理解出前講座「アンコールワットの魅力とカンボジアの今」を開催しました。

講師は右の写真のように、フェイスガードとマウスガードを付け、コロナ対策はバッチリです。

カンボジアの地理や基本情報、国旗の話に始まり、講師のカンボジアとの出会い、長年にわたる現地の日本語学校との交流の様子を多くの写真と共に紹介しました。



また、アンコールワット遺跡群についての話もありました。現在はコロナウイルスの影響で観光客が激減しているそうですが、本来ならば年中、各国からの観光客でにぎわっているそうです。大規模な遺跡群は、その濠がまるで湖のようです。多くの美しい写真を見て、旅をした気分になりました。その中でも、講師一押しの「タ・プロム寺院」は、木の根っこに押しつぶされそうな建物が印象的です。早く行って見ておかないと、本当に押しつぶされて無くなってしまいそうな自然の生命力に圧倒されました。

そして、カンボジアを語る上では、ポルポト政権による虐殺や地雷の問題など、悲惨な現実について避けては通れません。手足を失い物乞いをする少女、片足を失いながら小さな赤ん坊を抱える男性の写真など、目を背けたくなる現実を突きつけられました。そして、カンボジアの路上で出会った少年のエピソードでは、お金ではない支援の形、講師の活動の原点がここにあるのではないかと感じました。

